



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月31日

上場会社名 扶桑化学工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 4368 URL <https://fusokk.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）杉田 真一
問合せ先責任者 （役職名）取締役管理本部長 （氏名）伊藤 裕之 TEL 03-3639-6311
半期報告書提出予定日 2025年11月7日 配当支払開始予定日 2025年12月10日
決算補足説明資料作成の有無： 無
決算説明会開催の有無： 有 （機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	37,705	8.5	9,746	19.7	9,807	23.4	6,879	22.7
2025年3月期中間期	34,756	28.1	8,145	45.9	7,948	27.3	5,608	30.8

（注）包括利益 2026年3月期中間期 7,062百万円（41.6％） 2025年3月期中間期 4,989百万円（△8.8％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	195.12	—
2025年3月期中間期	159.09	—

（参考）減価償却前連結営業利益（連結営業利益＋減価償却費）

2026年3月期中間期 14,328百万円 2025年3月期中間期 11,847百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年3月期中間期	144,449	109,788	76.0	3,113.18
2025年3月期	141,502	104,048	73.5	2,951.16

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 109,788百万円 2025年3月期 104,048百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	35.00	—	38.00	73.00
2026年3月期	—	41.00			
2026年3月期（予想）			—	41.00	82.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	75,500	8.6	17,500	7.8	17,600	6.3	12,200	5.0	346.04

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

（参考）減価償却前連結営業利益（連結営業利益＋減価償却費）

通期 28,400百万円（15.7％）

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P.9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	35,511,000株	2025年3月期	35,511,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	245,494株	2025年3月期	254,089株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	35,259,118株	2025年3月期中間期	35,251,492株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 経営成績等の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) その他	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における世界経済は、緩やかな回復を見せる一方、各国の貿易・金融政策の動向や地政学リスクの高まりなどにより、依然として先行き不透明な状態が継続しています。米国では関税引き上げが一部の消費や投資活動に影響を与えたものの、総じて堅調に推移しました。中国では不動産市場の低迷などにより内需が鈍化する一方、輸出の増加により一定の成長が維持されました。日本では輸出や設備投資が堅調に推移しましたが、物価上昇に伴う生活コストの増加が個人消費に抑制圧力をかけています。

このような情勢の下、当社グループは、持続可能な成長を目指し、国内外での事業拡大と効率的な運営体制構築を進めています。営業面では、海外拠点との連携強化や製品管理・販売体制の効率化を促進し、現地生産や技術サポートを活用した市場拡大に取組みました。生産面では安全操業・安定生産の継続に加え、新設備の稼働や増設による生産能力の向上に努めると同時に、顧客からの認証取得に注力しました。また、中長期的なビジネス継続、従業員の就業環境改善を見据え、大阪工場の耐震補強工事や新事務所棟、鹿島事業所の分析棟の新設工事に着手しました。さらに研究開発では、技術力を基盤とした新たな高性能製品の創出、多様な分野での事業展開を進めています。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は37,705百万円（前年同期比8.5%増、2,949百万円増）となりました。営業利益は9,746百万円（同19.7%増、1,601百万円増）、経常利益は9,807百万円（同23.4%増、1,858百万円増）、親会社株主に帰属する中間純利益は6,879百万円（同22.7%増、1,271百万円増）となりました。

売上高、営業利益は、後述の各セグメントの要因により増収増益となりました。経常利益は、営業利益の増加に加え、受取利息の増加、為替差損の減少により増益となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、経常利益の増加により増益となりました。

当社グループの報告セグメントの業績は、次のとおりです。

（ライフサイエンス事業）

ライフサイエンス事業全体の業績は、外部顧客に対する売上高が17,783百万円（前年同期比4.7%減、885百万円減）、営業利益は2,516百万円（同8.2%減、225百万円減）となりました。

国内市場では食品・飲料用途等、果実酸類の需要は堅調に推移しましたが、医薬品や日用品マーケットの需要が軟化しました。海外市場ではリンゴ酸のシェアアップに取り組んだ結果、アジアを中心に販売数量が増加した一方、競争の激化により販売単価は低下しました。更に、円高に伴う輸出および在外子会社の売上高減少の影響も加わり、セグメント売上高は前中間連結会計期間を下回りました。営業利益は、前期の鹿島事業所の定期修繕の長期化によるコストアップ要因はなくなったものの、大阪工場の耐震補強工事に伴う稼働停止、販売価格の低下、円高に伴う在外子会社の利益減少の影響もあり、前中間連結会計期間を下回り、減収減益となりました。

（電子材料および機能性化学品事業）

電子材料および機能性化学品事業全体の業績は、外部顧客に対する売上高が19,922百万円（前年同期比23.8%増、3,834百万円増）、営業利益は8,425百万円（同29.3%増、1,909百万円増）となりました。

半導体市場はAI用途を中心に需要は堅調に推移しました。主力製品である超高純度コロイダルシリカは、堅調な需要に対して安定供給に努めた結果、販売数量が増加しました。売上高は、円高の影響による減少はありましたが、販売数量増加により、前中間連結会計期間を上回りました。営業利益は、京都事業所の新規製造設備の稼働に伴う減価償却費や立ち上げ費用が増加しましたが、売上増加に伴う生産拡大による効果が寄与し、前中間連結会計期間を上回り増収増益となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2,947百万円増加し、144,449百万円となりました。これは主に、現金及び預金、建設仮勘定が増加したためです。

負債は、前連結会計年度末に比べ2,791百万円減少し、34,661百万円となりました。これは主に、設備関係未払金が減少したためです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ5,739百万円増加し、109,788百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したためです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年8月8日に公表いたしました通期の業績予想および配当予想を修正しています。詳細につきましては、本日（2025年10月31日）公表いたしました「2026年3月期第2四半期（累計）連結業績予想と実績との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」、「剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

（4）その他

（重要な設備の新設等）

前連結会計年度末において計画中であった重要な設備の新設等のうち、当中間連結会計期間に完了したものは次のとおりです。

会社名 事業所 (所在地)	セグメント の名称	設備の内容	投資予定額		資金調達 方法	着手 (年月)	完了 (年月)
			総額 (百万円)	既支払額 (百万円)			
扶桑化学工業(株) 鹿島事業所 (茨城県神栖市)	電子材料お よび機能性 化学品事業	超高純度コロ イダルシリカ 製造設備およ び付帯設備	20,000	17,457 (注) 1	借入金	2023年9月	2025年8月 (注) 2

(注) 1. 既支払額を変更しています。

2. 製造設備は2025年8月に完成し、本稼働は2025年12月を予定しています。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,295,730	33,464,723
受取手形及び売掛金	16,046,056	17,296,107
商品及び製品	14,058,439	14,409,922
仕掛品	675,979	656,335
原材料及び貯蔵品	3,419,342	3,409,490
その他	1,571,738	887,486
貸倒引当金	△14,851	△15,446
流動資産合計	67,052,435	70,108,620
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,435,011	18,913,246
機械装置及び運搬具（純額）	18,491,734	17,719,557
土地	8,433,034	8,432,429
建設仮勘定	19,567,556	21,045,936
その他（純額）	1,055,247	941,907
有形固定資産合計	66,982,585	67,053,077
無形固定資産	4,006,424	3,751,406
投資その他の資産		
投資有価証券	714,487	805,008
長期前払費用	540,921	458,820
繰延税金資産	1,720,436	1,593,063
退職給付に係る資産	247,313	232,038
その他	237,467	447,837
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,460,627	3,536,768
固定資産合計	74,449,636	74,341,252
資産合計	141,502,071	144,449,873

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,073,443	2,968,632
1年内返済予定の長期借入金	3,100,000	4,000,000
未払金	2,625,862	2,606,599
設備関係未払金	6,207,343	3,726,584
未払法人税等	1,847,953	2,714,416
賞与引当金	620,290	693,609
役員賞与引当金	52,350	71,352
修繕引当金	451,633	188,254
その他	510,725	750,503
流動負債合計	18,489,603	17,719,952
固定負債		
長期借入金	16,900,000	14,900,000
繰延税金負債	303,532	304,438
退職給付に係る負債	1,463,632	1,442,640
資産除去債務	17,924	17,924
長期設備関係未払金	137,864	130,478
その他	140,535	146,279
固定負債合計	18,963,490	16,941,762
負債合計	37,453,093	34,661,714
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,334,047	4,334,047
資本剰余金	4,820,722	4,820,722
利益剰余金	91,405,565	96,927,074
自己株式	△1,057,033	△1,022,269
株主資本合計	99,503,301	105,059,574
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	191,889	233,907
繰延ヘッジ損益	8,682	11,097
為替換算調整勘定	4,345,103	4,483,579
その他の包括利益累計額合計	4,545,676	4,728,584
純資産合計	104,048,977	109,788,158
負債純資産合計	141,502,071	144,449,873

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	34,756,353	37,705,888
売上原価	21,840,812	22,874,014
売上総利益	12,915,541	14,831,873
販売費及び一般管理費	4,770,497	5,084,919
営業利益	8,145,044	9,746,953
営業外収益		
受取利息	157,061	207,466
受取配当金	6,161	7,987
その他	18,716	21,901
営業外収益合計	181,939	237,355
営業外費用		
支払利息	65,940	64,782
減価償却費	558	—
投資事業組合運用損	31,096	23,695
為替差損	279,792	87,623
その他	644	572
営業外費用合計	378,033	176,673
経常利益	7,948,950	9,807,635
特別利益		
固定資産売却益	60,928	2,813
補助金収入	20,257	5,588
特別利益合計	81,185	8,402
特別損失		
固定資産売却損	—	198
固定資産除却損	21,405	20,925
特別損失合計	21,405	21,124
税金等調整前中間純利益	8,008,730	9,794,913
法人税、住民税及び事業税	2,299,441	2,806,106
法人税等調整額	100,975	108,881
法人税等合計	2,400,417	2,914,988
中間純利益	5,608,313	6,879,924
親会社株主に帰属する中間純利益	5,608,313	6,879,924

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
中間純利益	5,608,313	6,879,924
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△79,064	42,017
繰延ヘッジ損益	△22,077	2,414
為替換算調整勘定	△517,965	138,475
その他の包括利益合計	△619,107	182,907
中間包括利益	4,989,206	7,062,832
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	4,989,206	7,062,832
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	8,008,730	9,794,913
減価償却費	3,702,681	4,581,823
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,002	641
賞与引当金の増減額 (△は減少)	65,492	71,714
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	22,310	19,002
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	24,759	△5,974
修繕引当金の増減額 (△は減少)	△209,103	△263,379
受取利息及び受取配当金	△163,222	△215,453
支払利息	65,940	64,782
為替差損益 (△は益)	179,617	34,473
投資事業組合運用損益 (△は益)	31,096	23,695
固定資産売却損益 (△は益)	△60,928	△2,614
固定資産除却損	21,405	20,925
補助金収入	△20,257	△5,588
売上債権の増減額 (△は増加)	224,616	△1,229,814
棚卸資産の増減額 (△は増加)	937,540	△297,105
仕入債務の増減額 (△は減少)	894,077	△117,376
未払金の増減額 (△は減少)	386,229	50,960
その他	1,677,435	908,819
小計	15,792,426	13,434,445
利息及び配当金の受取額	152,743	210,280
利息の支払額	△69,025	△65,034
補助金の受取額	20,257	5,588
法人税等の支払額	△1,330,093	△1,986,431
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,566,307	11,598,848
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,593,349	△1,330,016
定期預金の払戻による収入	1,423,225	1,549,921
有形固定資産の取得による支出	△12,295,950	△6,468,677
有形固定資産の売却による収入	1	3,309
無形固定資産の取得による支出	△15,429	△305,369
無形固定資産の売却による収入	67,189	—
投資有価証券の取得による支出	△2,839	△52,903
長期貸付金の回収による収入	0	0
投資事業組合からの分配による収入	27,990	—
その他	△388,877	△223,391
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,778,039	△6,827,127
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△1,100,000
自己株式の取得による支出	△236	—
配当金の支払額	△1,163,171	△1,339,552
リース債務の返済による支出	△5,432	△9,342
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,168,841	△2,448,894
現金及び現金同等物に係る換算差額	△331,904	34,573
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	287,522	2,357,400
現金及び現金同等物の期首残高	29,483,756	29,237,390
現金及び現金同等物の中間期末残高	29,771,278	31,594,790

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 （注）1	中間連結 損益計算書 計上額 （注）2
	ライフサイエ ンス事業	電子材料およ び機能性化学 品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,668,540	16,087,813	34,756,353	—	34,756,353
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	18,668,540	16,087,813	34,756,353	—	34,756,353
セグメント利益	2,741,337	6,516,552	9,257,890	△1,112,845	8,145,044
減価償却費	727,054	2,868,039	3,595,094	107,587	3,702,681

（注）1. セグメント利益の調整額は、提出会社の総務部門・経理部門等、一般管理部門に係る費用
△1,112,845千円です。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 （注）1	中間連結 損益計算書 計上額 （注）2
	ライフサイエ ンス事業	電子材料およ び機能性化学 品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,783,450	19,922,438	37,705,888	—	37,705,888
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	17,783,450	19,922,438	37,705,888	—	37,705,888
セグメント利益	2,516,235	8,425,584	10,941,820	△1,194,866	9,746,953
減価償却費	780,830	3,699,637	4,480,468	101,354	4,581,823

（注）1. セグメント利益の調整額は、提出会社の総務部門・経理部門等、一般管理部門に係る費用
△1,194,866千円です。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。